

経営比較分析表（令和4年度決算）

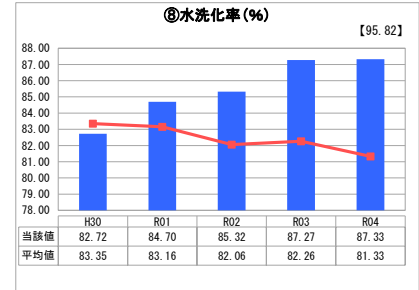
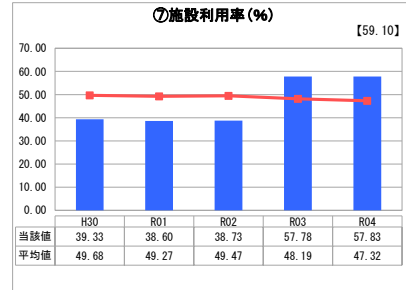
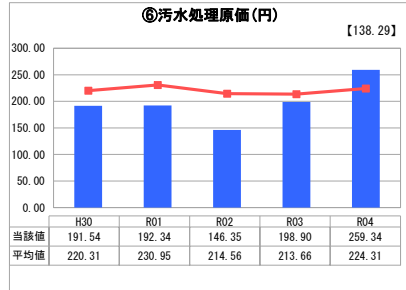
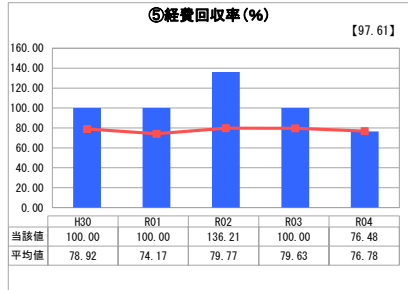
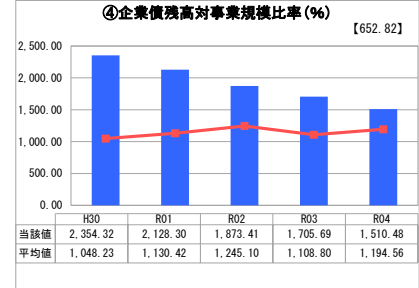
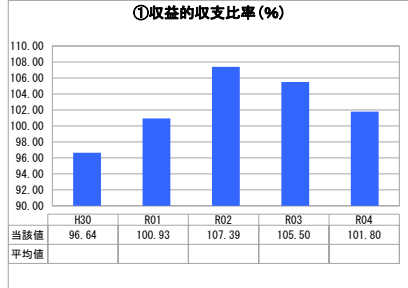
山形県 遊佐町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	該当数値なし	44.68	92.49	3,740

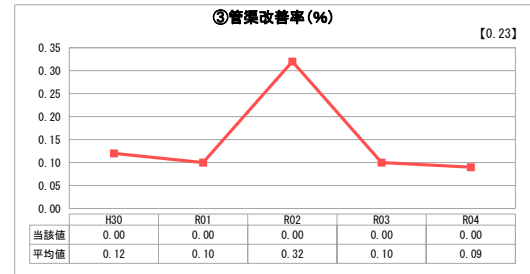
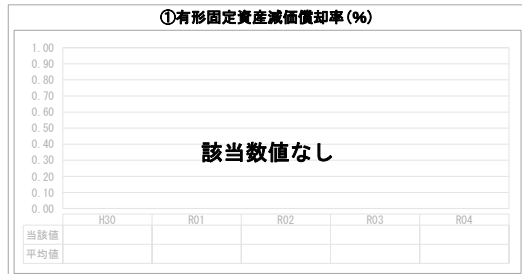
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
12,796	208.39	61.40
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
5,683	3.44	1,652.03

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、料金収入が昨年度より減少したが、不足する分を一般会計繰入金で補填しているため、100%以上を維持している。
 ④企業債残高対事業規模比率については、ここ数年は右肩下がりとなっているが、類似団体と比較すると、依然高い数値となっている。
 ⑤経費回収率については、汚水処理費が増加したことにより比率が下がったが、類似団体と比較して同程度の数値となっている。
 ⑥汚水処理原価については、汚水処理費が増加したことにより比率が上がリ、類似団体と比較して高い数値となっている。
 ⑦施設利用率については、特定環境保全公共下水道事業と同じ処理場を使用しており、処理量を公共分として計上しているため高い数値となっている。
 ⑧水洗化率については、水洗便所設置済人口、処理区域内人口ともに減少したが、比率としては昨年度より増加した。類似団体と比較しても高い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

令和2年度から令和4年度にかけて、ストックマネジメント計画を策定した。計画に基づき、財政状況を見ながら改築・更新を実施していく。

全体総括

単年度でみると経費回収率が100%を下回ったが、収益的収支比率は100%を超えており、概ね健全な経営状況となっている。しかしながら、有収水量と使用料収入が近年減少傾向であるため、健全な経営を維持するための対策として、汚水処理にかかる経費の見直しや、使用料収入を確保するため水洗化人口の増加に向けた対策が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均値を表示していません。